

地域振興県土警察常任委員会資料

(令和元年6月26日)

- 1 県中部地域における公共交通の利便性向上について
【交通政策課】・・・ 1 ページ
- 2 県内文化財の国特別史跡追加指定について
【文化財課】・・・ 3 ページ
- 3 クロアチア拠点セーリングチーム (J. K. モルナル) の事前合宿実施について
【スポーツ課】・・・ 5 ページ

地 域 振 興 部

県中部地域における公共交通の利便性向上について

令和元年6月26日
交通政策課

県中部地域においては、公共交通の利便性向上を図るため、交通事業者、利用者代表、市町村、県等で構成する鳥取県中部地域公共交通活性化協議会において、平成30年3月に策定した鳥取県中部地域公共交通網形成計画に基づき、長大路線である赤碕線の適正化を含めた路線の再編等について検討を重ね、このたび通勤通学及び観光の利便性を向上させる路線再編を10月から実施する予定となりましたので、その概要を報告します。

1 赤碕線及び北条線の青山剛昌ふるさと館経由便の新設並びに北条線の由良駅乗り入れ

赤碕線24便(土日祝20便)のうち4便(土日祝4便)、北条線18便(土日祝15便)のうち12便(土日祝12便)について、青山剛昌ふるさと館が開館している9時～16時台に同館を経由させるとともに、北条線全便について、由良駅入口から由良駅に起終点を変更する。



<期待される効果>

現状、バスが乗り入れていない青山剛昌ふるさと館へ赤碕線及び北条線を乗り入れることにより、観光移動の利便性が向上し、入館者増が期待できる。

また、北条線の起終点を由良駅にすることにより、JRを利用して同館を訪れる、又は同館から帰る観光客のバス利用を促進することができる。

2 赤碕線の西倉吉経由便の新設

琴浦町・北栄町方面から倉吉西高校、倉吉農業高校への通学に関し、各高校へのヒアリング結果において、より西側への路線変更を望む声があったことを受け、赤碕線24便(土日祝20便)のうち、朝夕の通学時間帯を含む6便(土日祝5便)について、西倉吉を経由させる。

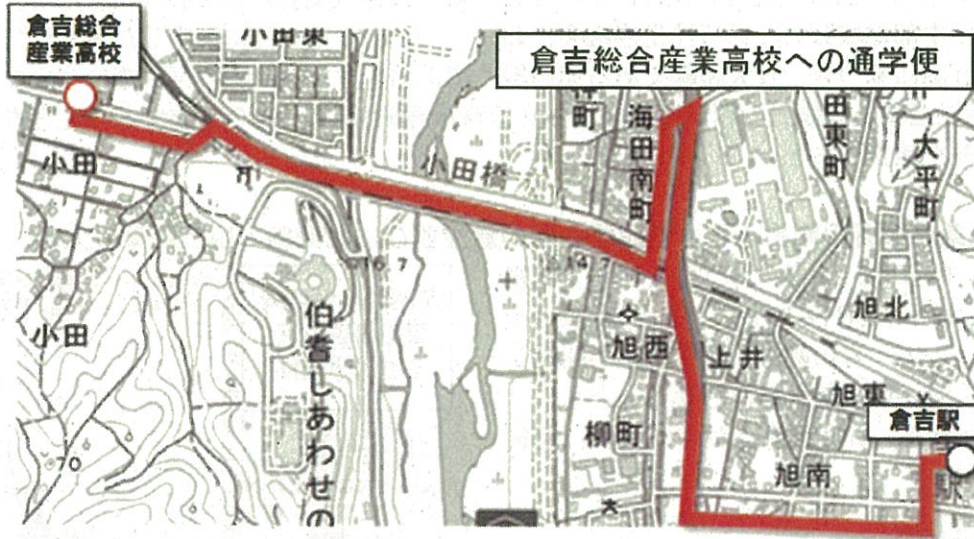


<期待される効果>

現在、赤碕線を利用して琴浦町・北栄町方面から倉吉西高校、倉吉農業高校にバス通学する生徒は、福吉町バス停で他の路線に乗り換えて通学しているが、赤碕線を西倉吉経由にさせることで通学利便性が向上する。

3 倉吉総合産業高校への通学便の新設

倉吉総合産業高校へのヒアリングにおいて倉吉駅から同校へのバス運行の要望があったことを受け、倉吉駅から高校敷地内まで乗り入れるバス路線（スクール専用便）を新設し、平日の通学時間帯に朝夕1便ずつ運行させる。

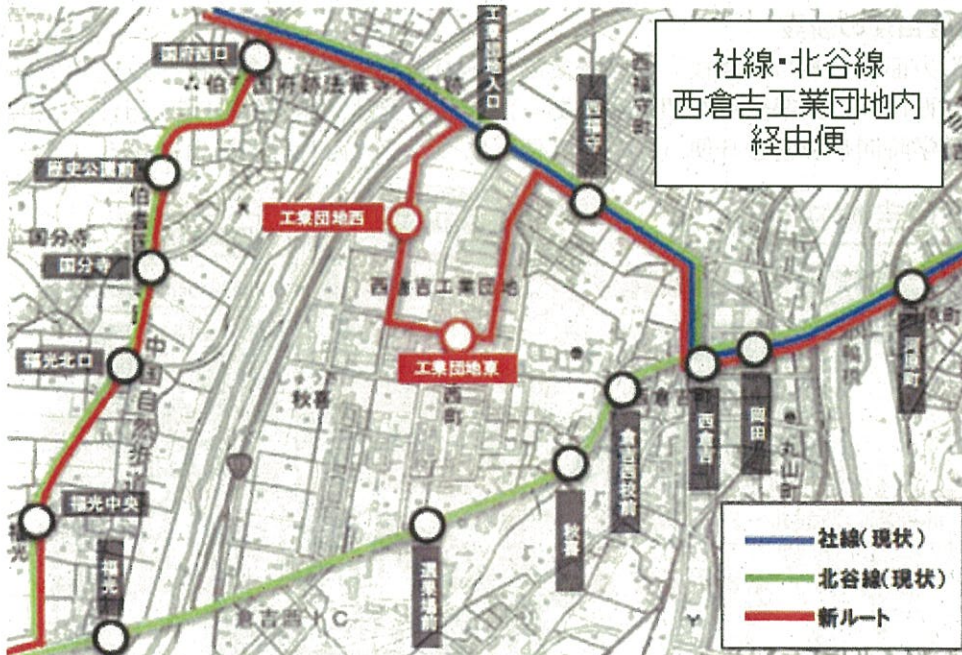


<期待される効果>

倉吉総合産業高校近くにはバス路線がなく、JR やバスで通学する生徒は倉吉駅から学校までの約 1.6km の距離を徒歩や自転車で移動しているが、バス路線新設により通学利便性が向上する。

4 社線、北谷線の西倉吉工業団地内経由便の新設

西倉吉工業団地内の企業へのヒアリングで一部にバス通勤の需要が見られたことから、社線 14 便（土日祝 14 便）のうち 2 便、北谷線 11 便（土日祝 13 便）のうち 2 便について、平日の朝夕の通勤時間帯に同工業団地内を經由させる。



<期待される効果>

西倉吉工業団地内企業の従業員の方の通勤利便性を向上させるとともに、自家用車通勤からバス通勤への転換を促し、バス利用の増を図る。

県内文化財の国特別史跡追加指定について

令和元年6月26日
文化財課

令和元年6月21日(金)、国の文化審議会(文部科学大臣の諮問機関:会長 ^{きとうまこと}佐藤信、大学共同利用機関法人 人間文化研究機構理事)は、下記のとおり特別史跡として追加指定するよう文部科学大臣に答申しました。

記

1 追加指定の概要

(1) 名称 特別史跡斎尾廃寺跡(とくべつしせきさいのおはいじあと)
面積 35,935.31㎡(指定地合計 39,390.31㎡)

(2) 所在地

鳥取県東伯郡琴浦町大字槻下字上齊尾996-24外 39筆

(3) 所有者

琴浦町有地、財産区有地(浦安財産区)、民有地(23名)

(4) 追加指定の経緯

斎尾廃寺跡は白鳳期(7世紀後半)創建の寺院で、金堂跡・塔跡・講堂跡等の法隆寺式伽藍が地上遺構として良く残っている。主要伽藍地は昭和10年に史跡指定、昭和27年に特別史跡に指定された(特別史跡は山陰地方で唯一)。その後の調査等で、既指定地の外側に、南北25.0m×東西15.0mの範囲で寺院地を囲む溝が確認されていた。

近年は、指定地周辺における毎年の芝の収穫により、既指定地に比して30cm以上地表高が低くなっており、地下遺構等への影響が懸念され、寺院地全体を保護することが必要となっていた。このため平成29年度に琴浦町教育委員会が策定した『特別史跡斎尾廃寺跡・史跡大高野官衙遺跡保存活用計画』において、追加指定によって一体的な保存と活用を図ることが必要とされ、平成31年1月に、文化庁に追加指定の意見具申を行った。

なお、これまでの調査で「八寺」と墨で記された土器が見つまっている。この「八寺」は「八橋寺」の略とみられ、斎尾廃寺が郡名(※)を冠した名称の寺院であったと考えられる。

※現在の琴浦町一体は、古代律令国家の時代には伯耆国八橋郡という行政単位に属していた。

2 指定件数

(1) 今回、国で答申される史跡指定の件数等

	既指定	新規指定	追加指定 ※	合計
史跡	1823	8	24	1831
(うち特別史跡)	(62)	(0)	(4)	(62)

※ 追加指定の場合、件数は増加しません。追加指定24件の内、1件が斎尾廃寺跡です。

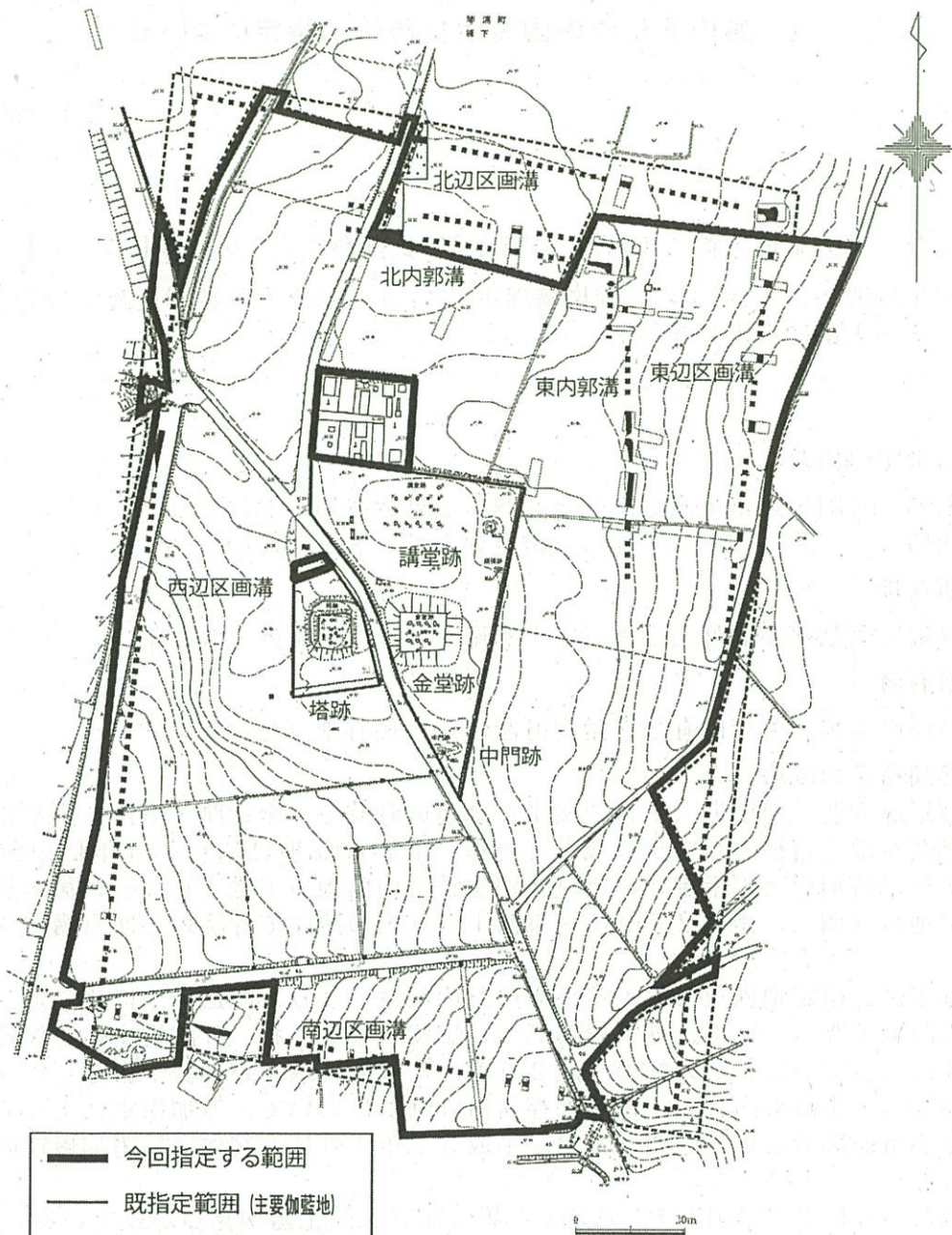
(2) 鳥取県の指定件数

追加指定のため、今回の答申に伴う件数の増加はありません。

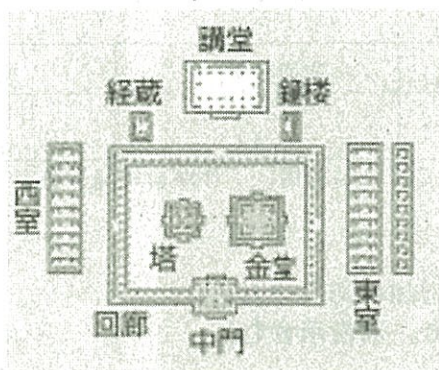
鳥取県の国・県指定・選定文化財総数(答申後。未告示含む)

国指定・選定文化財	県指定・選定文化財
124	307
(34)	(19)

()内は特別史跡及び史跡の件数



追加指定範囲（今回は太線部分）



法隆寺式伽藍配置



「八寺」と書かれた墨書土器

クロアチア拠点セーリングチーム (J. K. モルナル) の事前合宿実施について

令和元年6月26日
ス ポ ー ツ 課

クロアチア拠点のセーリングチーム「J. K. モルナルインターナショナルセーリングレーザーチーム」が、2019レーザー級世界選手権大会開催を前に、第2回目の合宿を境港市で実施しました。

同チームは、2018年10月に鳥取県セーリング連盟、境港市及び本県との間で境港合宿実施に係る包括協定を締結しており、2018年から2020年までの3年間、境港市を拠点に合宿を実施することになっています。

1 チーム概要

クロアチアのスプリットを拠点に活動するクロアチアセーリング連盟傘下のクラブチームである。ヨゾ・ヤケリッチコーチの教えを受けるため、クロアチアを含む5か国の選手が在籍し、ロンドン五輪、リオ五輪の銀メダリストを輩出している。鳥取県体育協会所属の瀬川和正選手もその一人である。

<チームメンバー>

コーチ	ヨゾ ヤケリッチ	(クロアチア)	
選手	トンチ スティバノビッチ	(クロアチア)	リオ五輪銀メダリスト 世界ランキング11位
	フィリップ ユリシッチ	(クロアチア)	世界ランキング16位
	パブロス コンティデス	(キプロス)	ロンドン五輪銀メダリスト 2017、2018世界選手権優勝 世界ランキング6位
	ベンジャミン バドナイ	(ハンガリー)	世界ランキング25位
	ヨナタン バドナイ	(ハンガリー)	世界ランキング30位
	セルゲイ コミッサロフ	(ロシア)	世界ランキング18位
	瀬川 和正	(日本)	世界ランキング49位 (日本人トップ)

2 第2回境港合宿概要

- (1) 期 間 6月8日(土)から17日(月)まで10日間
- (2) 内 容
 - ・境港公共マリーナを拠点とした練習
 - ・境港公共マリーナ多目的施設完成セレモニーへの出席(6月9日(日))
 - ・メディア取材への対応 等
- (3) 総 評
 - ・世界選手権大会の事前合宿ということもあり、昨年よりも緊張感漂う合宿であったが、合宿期間中は美保湾の特長である安定した風に恵まれ、ほぼ毎日練習を実施した。
 - ・同チームのほか、レーザー級世界選手権大会に出場する日本代表チーム及びアイルランド代表チームも合流して練習を行い、美保湾がセーリング競技の好適地であることが認識される良い機会となった。

※主なコメント

- ・前回の合宿同様、すべて完璧に境港での合宿が行えた。
(トンチ選手)
- ・本当に良い天候に恵まれて、最高の合宿となった。
(フィリップ選手)
- ・天気は予測できないものだが、合宿期間中は良いコンディションのもとで練習できてよかった。(ヨゾコーチ)

3 今後の合宿予定

2019年11月頃

2020年7月頃(東京五輪事前合宿)



出艇の様子

